

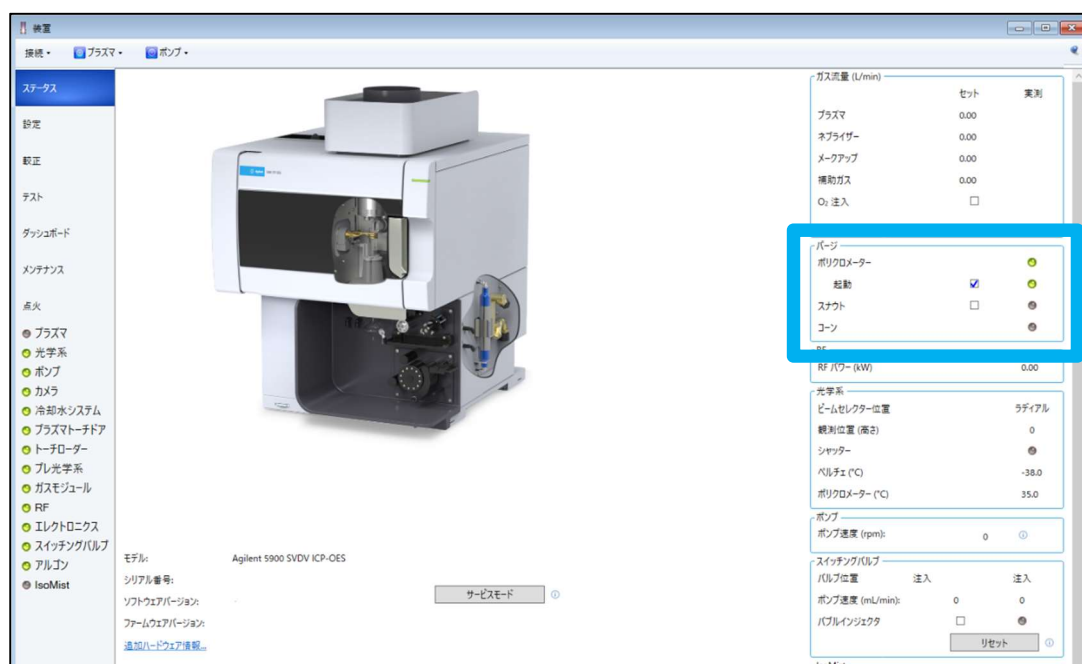
装置校正（波長の校正）に失敗する。

I. 短波長側（Al 167.019, N 174.213）が失敗する。

分光器内のアルゴンパージが不足しているかもしれません。

パージ > ポリクロメーター > 起動の口にチェックを入れます。

この状態で 30 分間程度、分光器のパージを行います。



校正前に「校正中にアキシャル構成を使用」にチェックを入れて下さい。

波長校正用標準試料の溶液がスプレーチャンバに到達したら、波長校正画面にある「校正」をクリックします。



排気ダクトの風量が大きすぎると失敗することがあります。

ダクト風量は 2.4 m/s ～ 5.7 m/s の範囲に収まるように調整してください。

II. 中・長波長側も失敗する。

以下ご確認ください。

- ・ネブライザ先端が詰まっている。または詰まり気味で噴霧状態が変わっている可能性があります。ネブライザのメンテナンスをお試し下さい。予備のネブライザをお持ちの場合は、試しに交換してみてください。
- ・オートサンブラをお使いの場合、プローブから波長校正溶液を吸引させず、手動分析の状態でキャピラリーチューブから溶液を吸引させてみてください。プローブ無し状態で校正が成功する場合は、プローブ内が閉塞している可能性があります。
- ・サンプルペリポンプチューブの締め付け具合と、チューブの消耗状態を確認して下さい。
- ・標準の内径 1.8mm インジェクタのトーチでお試し下さい。
- ・波長校正液が古い、または汚染されている可能性も考えられます。

全ての波長で合格することを確認します。

前回の結果:

元素	波長 (nm)	波長誤差 (nm)	結果
Al	167.019	0.002886	✓
N	174.213	0.003037	✓
As	188.98	-0.000364	✓
C	193.027	-0.001268	✓
As	193.696	-0.000267	✓
Se	196.026	0.000230	✓
Mo	202.032	0.001487	✓
Zn	202.548	-0.003418	✓
Mo	203.846	0.001898	✓
Mo	204.598	0.000809	✓
Cr	205.56	-0.002768	✓
Zn	213.857	-0.002428	✓
Cd	214.439	-0.004279	✓
Pb	220.353	-0.002171	✓

改善が見られない場合は、コンタクトセンタまでお問い合わせください。